

新年のごあいさつ



青森県身体障害者福祉協会

会長 山 田 金 治

新年あけましておめでとうございます。

皆様には良い年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年4月に「障害者差別解消法」が施行され、民間事業者や行政機関を対象に、障害を理由とする不当な差別的取扱いが禁止されました。

障害のある方への合理的配慮が求められますが、一人ひとりが正しく障害差別を理解し、取り組むことが必要です。

さらに、外見からは障害が分からない方が、適切な配慮や援助を得やすくなるよう、青森県では10

月から「ヘルプマーク」と「ヘルプカード」の配布が始まり、障害のある方が地域の中で安心して生活していくことができる共生社会への環境整備は、着実に進んでいるものと考えております。

また、当協会の機能を充分に活用し、障害者の社会参加活動の支援に少しでも寄与できるよう、誠心誠意尽力して参りたいと存じます。

各市町村身体障害者福祉会におかれましても会員の増強に取り組み、さらには、「青森県身体障害者福祉協会」及び「ねむのき会館」事業にご支援、ご協力をお願ひいたします。

終わりになりますが、会員皆さまのご健勝とご活躍を祈念申し上げ新年の挨拶といたします。

第42回青森県身体障害者福祉大会・青森大会を開催

平成28年11月6日、青森市リンクステーションホール青森（青森市文化会館）において、第42回青森県身体障害者福祉大会・青森大会を開催しました。県内各地より300名余りの参加がありました。

まず、開催に先立ち「荒川児童室獅子舞クラブ」による「獅子舞」、「後潟児童館太鼓クラブ」による「太鼓演奏」があり、会場から大きな拍手が湧き上がっていました。

式典では、長年にわたり障害福祉に貢献された方々、昨年度、和歌山県で行われた全国障害者スポーツ大会において優秀な成績を残された方々へ知事表彰、会長表彰が授与されました。

その後、大会宣言と大会決議が提案され、満場一致で承認されました。



ご多忙中にも関わらず多くの方に参加していただき、おかげさまで大成功のうちに大会を終了することができました。

来年度は、八戸市の開催となります。多くの方々のご参加をお待ちしております。

要望事項

- 1 障害者差別解消法に向けた具体的な取り組みを実施するとともに地域の実情に即した条例を制定していただきたい。
- 2 災害弱者である障害者に対応したきめ細かい防災対策を、強力に推し進めていただきたい。
- 3 全県をあげて、市町村身体障害者福祉会の活動が活性化されるよう、行政や地域社会福祉協議会などの関係団体の支援をいただきたい。
- 4 身体障害者相談員が県内全市町村に配置され、相談支援の充実が図られるよう強力に推し進めていただきたい。
- 5 障害者の社会参加の拠点である「ねむのき会館」の老朽化に対応した改築と、ねむのき会館事業の充実を図っていただきたい。

県知事要望について

平成28年12月16日、青森県庁を訪問し、山田会長から健康福祉部の菊地公英次長へ、青森県身体障害者福祉大会・青森大会において決議された5項目の要望事項を提出し協力を要請しました。

以下、菊地次長から回答をいただきました。

[要望事項に対する回答]

1. 今年4月1日に施行された障害者差別解消法では、行政機関や民間事業者における、障害者への不当な差別的取扱いの禁止や合理的配慮の提供が規定されるとともに、地方公共団体が取り組むべき具体的な事案として、職員対応要領の作成や相談体制の整備、地域協議会の設置等が規定されております。

これを受け、県では、職員対応要領を制定するとともに、差別解消相談窓口の整備、障害者差別解消支援地域協議会の設置、県民への普及啓発を行い、障害者への差別の解消が着実に進むよう、取り組んでいるところです。

全国には条例を制定している県もありますが、これらのは多くは法律成立前に制定又は制定準備をしていたもので、その趣旨は法律と同様であるため、本県では、まずは法律の円滑な施行に努め、障害者に対する差別のない社会づくりを進めいくこととしており、法に基づいて対応した上で、本県の実情を見極め、必要な対応について検討していくべきと考えています。

また、法律では施行3年後、必要がある場合は、所要の見直しを行うこととしており、国や他県の動向等を踏まえ対応していきたいと考えている。

2. 要配慮者に対する防災対策の主体となる市町村では、災害時の避難行動に特に支援が必要な者を事前に登録し、避難支援者と情報共有するための避難行動要支援者名簿の作成に取り組んでいます。また、福祉避難所の確保については、平成28年11月22日現在で37市町村が確保しており、残る3村においても確保に向けて検討を進めているところです。

県における取組としては、平成28年11月17日に青森県旅館ホテル生活衛生同業組合と「災害時における宿泊施設の提供等に関する協定」を締結したことで、要配慮者の多様な避難場所を広域的に確保し、市町村における要配慮者への支援の幅を広げる取組を行いました。

災害時のきめ細かな対策については、市町村の

果たす役割が大きいものと考えており、県では、市町村に対してより一層の取組強化を進めるよう、担当者会議等の様々な機会を通じて引き続き働きかけていくこととしています。

3. 県としては、市町村身体障害者福祉会の活性化については、各団体が自ら行うべきものと考えますが、各団体が活性化の方策を考える中で、県が対応できるものがあれば、協力について検討したいと考えております。

4. 身体障害者相談員は身体障害者福祉法第12条の3に基づき、市町村が、障害のある者の相談・更生のために必要な援助を行う者に対し、委託するものであります。

県としては、身体障害者相談員の地域における役割の必要性を十分認識しており、今後も機会を見て、市町村に対し身体障害者相談員の配置について、配慮を求めていくとともに、県の事業である相談員研修会を継続して実施し、身体障害者相談員の活動の向上を図っていきたいと考えております。

5. 施設の全面改築については、県立施設全体の中で、その老朽化による必要度に応じて対応していくところです。今年度は行政経営管理課が行っている施設整備等チェックシステムに計画書を提出し、長期的に施設整備を検討することにしています。

ねむのき会館の改修につきましては、平成23年度は暖房設備等整備工事、平成24年度は耐震補強工事、今年度は、LED誘導灯新基準整備工事、エレベーターリニューアル工事を行っているように、今後も、施設の運営に支障のないよう、必要性を十分に検討のうえ、一部改修や修繕等を行っていくことしたいと考えておりますので、御理解くださるようお願いします。

また、事業の充実については、今後も、これまで行ってきた各事業を継続していく予定ですが、適宜、指定管理者とも協議を行い、効果的な事業のあり方にについて検討していきたいと考えておりますので、御理解、御協力をお願いします。



第16回全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会」



第16回全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会」が、「広げよう 感動。伝えよう 感謝。」のスローガンのもと、平成28年10月22日～24日の3日間、北上総合運動公園北上陸上競技場を中心開催されました。

青森県選手団は、個人競技に選手35名、団体競技に選手27名、役員38名、計100名が参加しました。

10月20日、青森県庁にて結団式を行い、青森県知事から山田金治団長に団旗が授与され、激励の言葉、団長謝辞、選手代表決意表明の後、岩手県へと向かいました。

10月22日に行われた開会式では、山田団長と旗

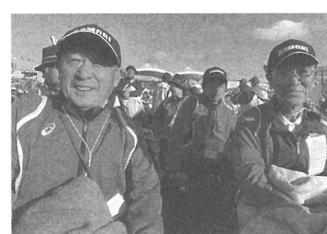
手の村上賢悟選手を先頭に43名が入場行進をしました。午後から各会場にわかれ、3日間の競技が始まりました。

大会期間は天候に恵まれ、選手の皆さんは全力で競技に挑み、金9個、銀10個、銅7個の合計26個のメダルを獲得しました。

各会場では、他県の選手団、ボランティア、地元岩手県の皆さんとも交流を深め思い出に残る大会となりました。

大会参加にあたって、ご協力いただきました各関係団体、ボランティアの皆さまをはじめ、ご支援いただきました皆さんに心よりお礼申し上げます。

なお、次回の全国障害者スポーツ大会は平成29年10月28日～30日に愛媛県内で開催される予定です。



むつ市 川端 稔選手⑩
平川市 木村卓郎選手⑪



平川市 佐藤千代子選手

第16回全国障害者スポーツ大会オープン競技(ゲートボール)で青森県が銅メダル



第16回全国障害者スポーツ大会オープン競技として行われたゲートボールと卓球バレーに、当会からの助成で青森県チームがそれぞれ出場しました。

ゲートボールには、全国各地から24チームが出場しました。

青森県身障福祉会選抜チームは予選リーグ戦を3勝1敗、決勝リンク戦を2勝0敗、通算成績5勝1敗とし、得失点差で見事3位入賞し、銅メダルを獲得しました。主将の吉田は、「2戦目以降をしっ

かり勝ち続けられたことが入賞につながりました。チーム一丸で頑張りました。」と大会を振り返りました。出場者6名は以下のとおりです（敬称略）。

主将：吉田福司（十和田市）、中野信彦（七戸町）、

水梨文夫（三戸町）、西野はや（五戸町）、岩間アキ（三沢市）、渡辺フヂ（三沢市）

卓球バレーには、車椅子バスケットボールチーム「AOMORI JOPS」9名が出場し、予選リーグを突破したものの決勝トーナメント1回戦で惜しくも敗退しました。青森県チームは、上位を争うチームの競技性の高さとチームワークに驚きつつも、次の機会があれば上位を狙いたいと意気込んでいました。



第4回ねむのき杯ボッチャ大会・県内各地でボッチャ教室を開催

平成28年度身体障害者スポーツ振興基金運営事業として、平成28年12月17日、ねむのき会館体育館を会場に第4回ねむのき杯ボッチャ大会を開催しました。

県身協加盟団体会員を中心に過去最多の12チーム39名が参加し、3対3のチーム戦によるレベルの高い試合が繰り広げられていました。

今年で4回目となるこの大会は、障害を問わずどなたでも参加でき、どのチームも勝利を目指しつつ



ねむのき冬祭りのお知らせ

障害者及び地域住民の交流、また冬場の運動不足解消を目的として、毎年恒例のねむのき冬祭りを開催します。

日 時	平成29年2月25日(土)10:30~14:30
場 所	青森県身体障害者福祉センター ねむのき会館「体育館」ほか
内 容	ゲーム、レクリエーション、よさこい (出演:チームこぶし・舞鼓童)など

※参加費、昼食(カレーライス)無料

お問い合わせ、参加ご希望の方は、ねむのき会館事務局(017-738-5033)までご連絡ください。

申込書での参加受付となります。

当日は、上履きをご準備ください。



楽しんでいらっしゃる様子がうかがえました。

予選リーグ・決勝リーグを行い、見事優勝した平川Bチーム(平川市身障福祉会)には優勝カップと副賞が授与されました。

また、今年度は6月~7月に県内2ヶ所(青森市、弘前市)で、ボッチャの普及と指導者の養成を目的にボッチャ教室も開催しました。2会場で延べ21名のご参加をいただきました。今回初めて開催した青森市では、青森市身障福祉会の皆様に気に入っていたり、11月に行われた青森市身障福祉会主催の屋内スポーツ大会で採用していただきました。

来年度もボッチャ教室を開催予定です。お住まいの地域で開催希望の団体様がおられましたら、県身協事務局までお知らせください。次年度計画の参考にさせていただきます。

日本身体障害者福祉大会 参加の旅(岐阜)へのご案内

第62回日本身体障害者福祉大会が、平成29年5月30日(火)、31日(水)の日程で岐阜県岐阜市において開催されます。

県身協では、3泊4日の日程で「大会参加の旅」を企画しました。

旅行日程詳細や申込書は、1月下旬に各市町村身体障害者福祉会長宛てに送付いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

【旅行期日】平成29年5月29日(月)~6月1日(木)

【旅行代金】お一人様99,000円(予定)

※大会参加費含む

【募集人数】30名

【申込方法】平成29年3月10日(金)までに県身協事務局へ申込書にてお申し込みください。

5/29(月)

青森空港(9時5分)→小牧空港→白川郷→高山市内(泊)

5/30(火)

高山市内(飛騨の小京都)→日本昭和村→長良川温泉(泊)

5/31(水)

大会参加(午前)→岐阜城→伊勢市内(泊)

6/1(木)

伊勢神宮(内宮・外宮)→ミキモト真珠島→鳥羽水族館→小牧空港→青森空港(19時10分)

※日程は変更になる場合もあります。

